個人情報漏えいに関するお詫びと報告

当院において、下記のとおり個人情報漏えいが発生いたしました。患者さん等関係者の方におかれましては、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

今回の事案を重く受け止め、再発防止に取り組み、個人情報の保護のさらなる徹底を図ってまいります。

記

1 事案の概要

令和7年5月29日朝、当院看護師が転院される患者さんの書類を封入する際、別の患者さんの書類が置いてある机の上で作業を行ったため、誤って別の患者さんの入院診療計画書が混入してしまいました。そのことに気づかず、封筒を転院先施設の職員に手渡してしまい、翌日、転院先施設からの指摘を受け、個人情報の漏えいが発覚いたしました。即時、病棟師長が転院先の施設に赴き、謝罪の上、入院診療計画書を回収いたしました。

2 漏えいした個人情報

- ・患者さん1名に係る氏名、病名、症状、治療計画、検査内容及び日程、推定される入院期間、特別な栄養管理の必要性の有無、看護計画、栄養計画
- ・当院職員4名の職種及び氏名

3 発生原因

- ・他の患者さんの書類の上で転院患者さんの書類の封入作業を行ったこと。
- ・封筒の中身をダブルチェックしなかったこと。

4 再発防止策

他の患者さんの書類と混在しないよう1患者さん1ファイルで書類を保管するとともに、書類を封入する際は所属長が封入し、他の職員によるダブルチェックを必ず行うこととし、書類を渡す際は職員が患者さん（家族含む。）と内容を確認してお渡しすることについて、再徹底を行いました。

また、当該再発防止策については病棟マニュアルに追記するとともに、全職員に対する注意喚起を行い、再発防止に努めてまいります。

令和7年7月8日

中国労災病院

院長 栗栖 薫